

# 平成29年度当初予算が

## 決まりました

平成29年度

一般会計当初予算  
68億4千638万  
4千円

今年度は第五次総合計画の2年目となり、『自然・歴史を活かした健康輝くまち―黄金花咲く交流の郷 わくや』を目標に、それぞれの事業が相互作用により新たな創造を起こし、賑わいある交流を進め、町の誇りが広がり、世代を通じて定住できるまちづくりを目指します。

### 予算の概要

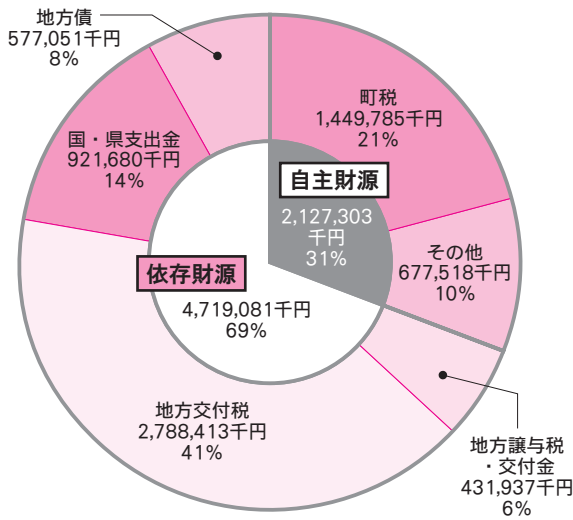
昨年度と比べると2億1千849万9千円(3.1)減となり、町債の借

換等を除いた実質通常分でも1億9千224万9千円(2.9%)の減となりました。

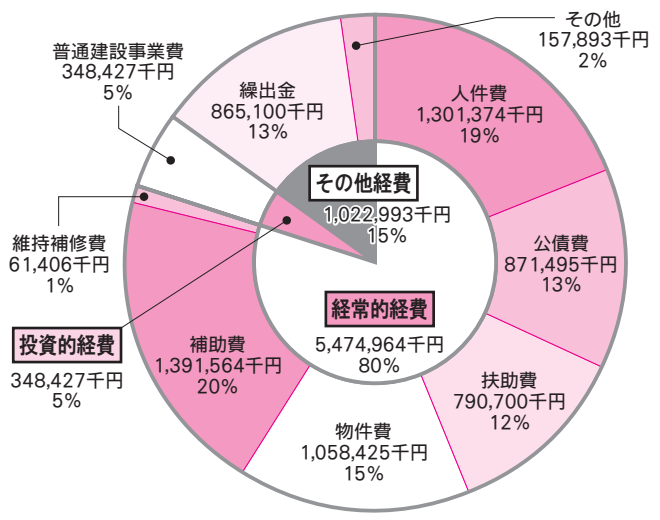
貴重な自主財源である町税は、法人税については減収となったものの、個人町民税、固定資産税、軽自動車税で増収を見込み、1.7%増の14億4千978万5千円を計上しました。

歳出においては、行政経費の見直し、効率化等を図り、着実に総合計画を推進する予算編成となりましたが、1億2千200万円の財源不足となり、基金(貯金)を取り崩すこととなりました。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



### 各会計当初予算

会計区分	金額	会計区分	金額	
			収入	支出
一般会計	68億4,638万4千円	水道事業会計	4億2,793万2千円	4億1,858万9千円
国民健康保険特別会計	25億1,702万9千円	資本的	3,644万4千円	1億4,629万2千円
後期高齢者医療保険特別会計	1億5,651万5千円	病院事業会計	21億3,820万1千円	22億2,092万円
介護保険特別会計	17億2,158万1千円	資本的	1億5,014万5千円	2億3,158万2千円
宅地造成事業特別会計	667万2千円	老人保健施設事業会計	5億1,489万3千円	5億1,414万4千円
公共下水道事業特別会計	4億9,585万4千円	資本的	-	3,342万円
農業集落排水事業特別会計	1億3,738万2千円	訪問看護ステーション事業会計	7,130万3千円	5,961万1千円
合計	118億8,141万7千円	資本的	-	-

# 平成29年度の主要事業（一般会計）

各事業費については万円未満を切り捨てて掲載しています。

**NEW** 新規事業      **▶** 拡充事業      **継続** 継続事業

## 総務課

- 継続** 交通安全対策事業 1,208万円  
交通安全指導隊や関係機関と連携。交通事故を抑制し、安全安心なまちづくりを目指します。
- ▶** 防犯事業 1,275万円  
計画的な防犯灯整備を推進し、関係機関やみなさんと一緒に、安全安心なまちづくりを目指します。
- ▶** 消防・防災事業 3億273万円  
防災マップを更新するなど、災害に備えるとともに、深刻な被害が生じないまちを目指します。

## 健康課

- ▶** 予防接種事業 3,376万円  
今年度から乳幼児の急性重症胃腸炎防止対策として、ロタウィルスのワクチン接種を実施し、子育てを応援します。
- ▶** 地域医療対策事業 2,106万円  
関係団体と連携し、地域医療を確保します。また、石巻市夜間急患センター運営について新たに参画し、小児科初期救急医療の充実を図ります。
- 継続** 妊婦・乳幼児健診・新生児訪問等事業 1,188万円  
妊婦および乳幼児の健康管理や保健指導を実施。子どもたちの健やかな成長を支援します。

## 福祉課

- ▶** 子ども医療費助成事業 5,490万円  
18歳までの子どもの医療費を助成。医療機会の確保・子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
- NEW** 第三子小学校入学祝金事業 51万円  
子育て世帯の生活の安定を図ります。将来の涌谷を担う子どもの健全な育成を目指します。
- 継続** 地域福祉計画策定事業 868万円  
福祉計画を策定し、「住民同士が支え合い、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を推進します。

## 農林振興課

- ▶** 県営ほ場整備関連事業 1億3,652万円  
生産基盤のほ場を整備。農家経営の効率化などを図り、所得向上を目指します。
- NEW** 地域ブランド米創出事業 400万円  
銘柄米「金のいぶき」などに対し、涌谷ブランド化を図り、高付加価値米を創出する取り組みを推進します。

## 教育総務課

- NEW** 就学応援交付金事業 555万円  
小中学校の学級費相当分の助成金交付により、経済的支援を行い、子育てしやすいまちづくりを推進します。
- ▶** 海外派遣研修事業 659万円  
町内中学生をアメリカに派遣。国際理解や国際感覚の涵養を図ります。
- 継続** 麓岳白山小整備事業 1,600万円  
麓岳白山小の外構工事を実施。より安全安心な教育環境を整備を推進します。

## 企画財政課

- 継続** 情報発信強化事業 103万円  
ホームページの更新を積極的にし、情報発信を強化。涌谷町の各種事業や観光情報などを発信します。
- NEW** 地域おこし協力隊事業 1,188万円  
都市住民を協力隊に委嘱し、柔軟な発想による地域おこしを推進します。

## まちづくり推進課

- NEW** 起業家創出プログラム事業 100万円  
地域で起業・創業を目指す方を対象にビジネススクールとマッチングを提供することで地域経済の活性化を図ります。
- NEW** 結婚新生活支援事業 90万円  
低所得者の婚姻に伴う新生活に係る支援金を交付することで定住促進を図ります。
- ▶** 生薬を活かしたまちづくり事業 346万円  
町内産ハトムギを使用した飲料水の製造を行うなど、生薬による地域経済の活性化を推進します。

## 町民生活課

- 継続** 空家対策事業 8万円  
空き家バンクを開設し、管理不全空家解消と利活用を促進します。定住者の確保と地域の生活環境の改善を図ります。
- NEW** 人権啓発事業 58万円  
人権フェスティバルを開催するなど、一人ひとりの人権が尊重された地域社会を目指します。

## 建設課

- ▶** 道路新設改良事業 1億6,756万円  
計画的に町道の改良等を行います。今年度は沢1号線改良等を実施し、適正な環境整備に努めます。
- NEW** 公営住宅除去事業 986万円  
空家となった公営住宅（沢住宅）を解体し、地域の生活環境の向上を図ります。

## 総務管理課

- 継続** 看護師等奨学資金貸付事業 339万円  
奨学資金の貸与による支援をし、医療福祉行政を進める上で中核となる看護師などの確保を図ります。
- 継続** 病院対策 3億452万円  
地域包括ケアシステム確立の核となる町立病院運営を負担し、皆さん一人ひとりがかけがえのない人生を送ることを目指します。

## 生涯学習課

- 継続** 生涯学習促進事業 31万円  
各年代に応じた知識や技術を養成。社会参加、生きがいづくりなどの推進を図ります。
- 継続** 文化財保護・活用事業 908万円  
日本遺産への登録を目指すなど、歴史遺産や文化財などの保護と活用をし、観光と連携しながら交流人口の創出と地域の活性化を図ります。
- 継続** 生涯スポーツ推進 398万円  
総合型地域スポーツクラブ事業を推進するなど、誰もが気軽に参加できる場の確保に努め、健康増進等明るく活気に富む地域づくりを目指します。

# 概要をお知らせします

▶ 問い合わせ先  
企画財政課財政班  
☎43-2112

## ▶ 純資産変動計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

貸借対照表の町の純資産が、1年間にどのような増減があったのかがわかる表です。

<b>平成26年度末残高（期首残高）</b>	
	420億7,800万円
<b>純資産の増加 — ①</b>	141億100万円
財源調達…… 税金や国県補助金等	134億2,100万円
資産の増加	6億8,000万円
<b>純資産の減少 — ②</b>	△147億7,000万円
財源の使途…… 純経常費用や資産を取得、 するための財源	△129億3,000万円
うち純経常費用（純行政コスト）	(△94億円)
その他	△18億4,000万円
<b>当期純資産変動額（①－②）</b>	△6億6,900万円
<b>平成27年度末残高（期末残高）</b>	
	414億900万円

### 《純資産変動計算書からわかること》

- 平成27年度における町の純資産変動額は**6.7億円の減少**となりましたので、将来世代に負担を先送りしたことになります。

## ▶ 行政コスト計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

年間の行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスのコスト(経費)がわかる表です。

<b>経常費用 — ①</b>	125億300万円
…… 行政サービスに要した費用	
人件費…… 職員給料、議員報酬等	29億9,100万円
物件費…… 消耗品、施設維持補修等	19億2,400万円
その他…… 委託料、賃借料、公債費利子等	15億5,200万円
移転支出…… 他会計への繰出金、補助金、 生活保護などの社会保障給付費等	60億3,600万円
<b>経常収益 — ②</b>	31億300万円
…… 町民の方々が直接負担する使用料や 手数料など	
<b>純経常行政コスト（①－②）</b>	
	94億円

### 《行政コスト計算書からわかること》

- 町民1人当たりの行政コスト…56万円
- 全体の受益者負担割合(②/①)…24.8%  
(参考)一般会計のみの受益者負担割合…5.3%  
このことから、一般会計以外の下水道事業や病院事業での負担で全体の負担割合が大きくなっています。

### 【財務書類を見る上での注意事項】

※各表はわかりやすく表示するため100万円未満については端数調整した金額を記載しているため、合計が一致しない場合があります。

※町民1人当たりの指標は、平成27年度末（平成28年3月31日現在）の人口16,908人で算出しています。

※矢印は、各表の収支尻の対応関係を示しています。

町では、一般会計事業のほか、病院事業や水道事業などの公営企業会計、国民健康保険事業や公共下水道事業などの特別会計で、さまざまな行政サービスを提供しています。

町の財政は、一般会計だけではなく、公営企業会計や特別会計を含めて成り立っています。その概要を複式簿記の考え方を取り入れた単体会計(※)の財務諸表を用いて、町が整備してきた資産などの情報や行政サービス提供のために発生したコスト(経費)がどのくらいかかったのかをお知らせします。

なお、詳細は町のホームページに掲載していますのでご覧ください。

(※単体会計とは、一般会計、各種特別会計、企業会計を合わせたものです。)

## ▶ 貸借対照表

基準日(平成28年3月31日現在)において、住民サービスを提供するために町が保有している資産とその資産をどのような財源で調達してきたかがわかる表です。

資 産 (現在町が保有する資産)	負 債 (将来世代が負担する金額)
現金や預金など 13億5,200万円	町の借入金など 169億1,300万円
町税未収金や基金など 44億4,700万円	純 資 産
道路や学校など 525億2,300万円	現在までの世代が負担してきた資産 414億900万円
資産合計 583億2,200万円	負債・純資産合計 583億2,200万円

( ) 内の数値は、前年度の金額

### 《貸借対照表からわかること》

- 町民1人当たりの資産額：345万円(346万円)、負債額：100万円(100万円)、純資産額：245万円(246万円)

## ▶ 資金収支計算書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1年間の資金(現金・預金など)の増減を性質の異なる3つの区分に分けて表したものです。

平成26年度末残高(期首残高)	10億6,800万円
経常的収支	16億9,600万円
資本的収支	△11億8,900万円
財務的収支	△2億2,200万円
平成27年度収支	2億8,400万円
平成27年度末残高(期末残高)	13億5,200万円

### 《資金収支計算書からわかること》

- 経常的収支と資本的収支を合わせた基礎的財政収支(プライマリーバランス)は、約5億600万円のプラス(黒字)となっています。
- 財務的収支は、町の負債の管理にかかる資金収支を表しています。27年度は約2億2,200万円の減少となっています。公債の新規借入より元利償還(返済)の方が多かったということになります。



## 安心安全なまちづくりへの支援 郵便局との包括連携協定を締結

3月3日(金)に、涌谷町は涌谷町内の郵便局および大崎市の古川郵便局と包括連携協定を締結しました。

この協定により、災害発生時の緊急車両の提供をはじめとして、郵便配達の際に、高齢者宅の異常や不審者、不法投棄、道路破損などを見つけた場合に、郵便局から町の担当課へ連絡いただくなど、安心安全なまちづくりに向け、相互に連携していきます。



## よみがえった景観と利便性の高い河川敷に 江合川特殊堤かさ上げ工事が完了

昨年5月下旬から行われていた江合川の治水防止を目的として行われていた涌谷大橋から特殊堤かさ上げ工事が、平成29年3月に完了しました。

特殊堤のかさ上げ工事に合わせて、河川敷に生えていた支障木が伐採され、涌谷大橋から城山にかけての景観が復活しました。

また、河川敷に降りるための階段も整備され、交流の場としての利便性も向上しました。



## 全国7,268人エントリーの中から見事表彰 池坊学校華道インターネット花展で 野村由貴さんが河北新報社賞を受賞

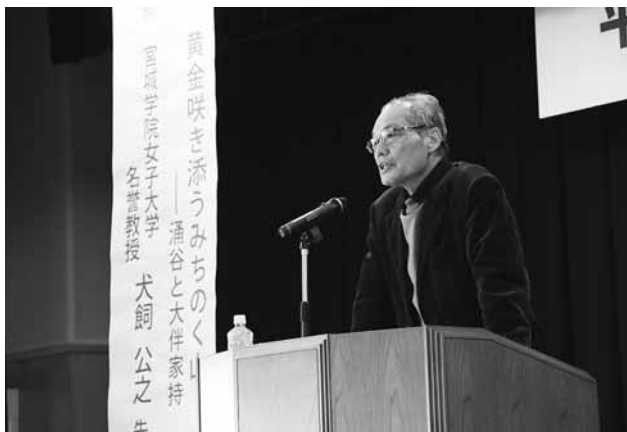
2月9日(木)に発表された池坊主催の第19回学校華道インターネット花展において、野村由貴さんが、全国1,150校7,268人がエントリーした中、河北新報社賞(東北ブロック賞)に選ばれました。

応募作品は、昨年の夏に作成したもので、テーマを「初秋の庭」としたものです。「メインで使おうと思ってた花材を見ているうちにアイデアが湧いてきた」という作品は、ヒペリカムとオクロレウカを使い虫たちがダイナミックに飛び跳ねる様子を表現し、秋の訪れを感じさせるものとなっています。

野村さんは、涌谷高校に在学中、3年間、茶華道部に在籍。卒業後、華道を続けたいという思いから、部活動で指導を受けていた成澤志磨先生を師事。ヘアメイクの専門学校に通うかわら、池坊わくやいけばな教室の子ども教室で、子どもたちへの指導の手伝いをしながら、自身も指導を受けてきました。

この4月からは美容師として就職するため町外に転出しますが、これからも続けていきたいということで、指導を受けに涌谷町に通い続けます。





## 黄金咲き添うみちのく山は涌谷町 平成28年度文化財講演会を開催

2月19日(日)に、涌谷公民館において、平成28年度文化財講演会が開催され、町内外から約80人が参加。講師に宮城学院女子大学名誉教授の犬飼公之氏を招き、「黄金咲き添うみちのく山—涌谷と大伴家持」という演題で実施。

「涌谷町は、聖武天皇の詔を受けて大伴家持がうたった和歌の舞台であり、そして、万葉集にうたわれる北限の地である」と講演されました。



## くがね創庫でファッションショー

### 和服リフォームの会作品展 ～和から輪へ・輪から輪を～

2月27日(月)に、涌谷町内の和服リフォームの会の皆さんが主催する展示会が開催されました。

13回目を迎える今回、初めての試みとしてファッションショーが、展示会の初日に行われました。

このファッションショーは、それぞれの会員の皆さんが自作した服を身につけ、実際に着用することで、リフォームした服の良さを、自分たち自身で改めて感じてもらうことを目的としたものです。

また、昔ながらの伝統的な製法で作られ、タンスの中で眠っている良質な生地を次代につなげていきたいという思いで、日々活動されているそうです。

会場となったくがね創庫には、ランウェイを設営。昔ながらの色柄と質感の生地を現代風に仕立てたことで、元々が和服だったとは思えない前衛的でおしゃれな印象に。

ぶっつけ本番だったというファッションショー出演者の皆さんも、集まった約100人の観衆を前に、気持ちも高ぶり、身のこなしや表情など、一流モデルさながらに登壇していました。



## 認知症になっても安心して暮らせる地域に 職員が認知症サポーター養成講座を受講

2月22日(水)に、涌谷町役場において、職員向けに「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

さらに高齢化率が上昇していく中、認知症を正しく理解し、安心して暮らせる地域づくりを進めていく上で、職員全員が認知症サポーターになることを目指しています。

また、認知症を自分事としてとらえるために、受講してみませんか？小中学校や事業所など、開講を希望する場合は、福祉課包括支援班までお問い合わせください。



## 東日本大震災「3.11みやぎ鎮魂の日」 涌谷町献灯・献花所を設置しました

宮城県では、東日本大震災が発生した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。

涌谷町では、東日本大震災の犠牲になられた皆さまのご冥福を祈る場所として、株式会社涌谷葬祭センターのご協力をいただき、和光苑を会場に、献灯・献花所を設置しました。

当日、町内外から多数の皆さまが訪れ、鎮魂の祈りを捧げました。

## 図書室の再開に向けて ボランティアの皆さんが 図書の整備を進めています

**東**日本大震災の発生により旧涌谷公民館は全壊。それ以来、図書室が使用できない状況が続いています。そういった状況を受け、図書室の再開を望む町民の皆さんが、図書室運営再開に向けて動き始めています。

毎週火曜日に、司書・司書補の経験がある方を中心に、図書室再開委員会の有志が、涌谷公民館に集合。被災した図書は、長年使われていた汚れに加えて、カビが生えていたり状態が悪く、かつ、分類もばらば



らになっています。

まずは、一冊一冊丁寧に紙やすりで汚れやカビを落とし、その後、壊れている部分を補強。そして、蔵書を管理するための台帳を作成しています。

昨年の7月から作業を開始し、約9千冊ある図書のうち、約1500冊まで作業が完了しています。

なお、分類が完了した図書は、4月1日から涌谷公民館で貸し出されます



①書籍にやすりがけをする作業は、書籍を傷めないように、地道に行われていきます②図書室再開に向けて不可欠な司書の資格をお持ちの方にもご協力いただき、図書の分類が行われています③未分類の図書がまだまだ山積みになっています④分類まで終わった図書は、涌谷公民館内の視聴覚コーナーに設けられた書棚に並べられ、4月1日から貸し出されます

### 【ボランティアを募集】

図書室再開委員会では、作業にご協力いただける人を随時募集しています。関心を持たれた方は、涌谷公民館(☎43-3001)までお問い合わせください。





子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告

わくわくドキドキ?チョコケーキ作り

昨年広報でも紹介された、みやぎ食育コーディネーター千石めぐみさん監修のレシピを参考に、2月13日(月)に、町民医療福祉センターで『バレンタインチョコケーキ作り』を開催。材料を混ぜて紙コップに注いで、蒸し器で蒸すと簡単に“米粉のスチームチョコケーキ”が完成。思い思いにハートや星形のシュガーを飾って完成させました。

その後は、調理中、託児スタッフと遊んで待っていた子どもたちも一緒に試食をしました。おいしくできたケーキにみんなニコリ笑顔。家でも持ち帰った愛情いっぱいケーキを味わい、笑顔いっぱいになったことでしょう。



しろやまさん  
城山の金さん徒然日記

町内の観光スポットにWi-Fiを整備

昨今、観光スポットで、日本人のみならず、外国人観光客を招き入れるために、必要不可欠なものは、何かご存じか?さまざまあると思うが、そのうちの一つである「Wi-Fiスポット」の整備を進めておったところじゃ。

この「Wi-Fiスポット」は、宮城県が進める「みやぎFreeWi-Fi」事業の一環のもので、登録すればどなたでも無料で利用できる公衆無線LANサービスとなっております。

現在は、わくや天平の湯と天平ろまん館、研修館の3施設が対応しており、観光客の皆さんにとっての利便性を高め、各施設への誘客につなげていきたいと考えておる。



写真) 電波の悪かった天平ろまん館でも快適通信!



こちら-町長コラム-  
町長室です

忠義を尽くした宗重公

伊達政宗公生誕450年記念プロモーションキックオフセレモニーに参加する機会を頂き、主催者の村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長とともに、仙台伊達藩に縁を持つ県内各市町村長とステージに上がらせていただきました。

仙台伊達藩・第18代御当主の伊達泰宗様が登場、ご挨拶を頂いたときは、主君のためなら身を犠牲にしてもお家を守り貫くと、身を挺して武士道を貫いた伊達安芸宗重公に想いを馳せていました。

ご存じのとおり、仙台伊達藩一門の涌谷伊達家は、1591(天正19)年、初代の亙理元宗公・2代宗重公の代に亙理から田尻の百々城に、同年涌谷に入府、現在地に要害を構え、町割りを行い、3代定宗公の時に、伊達姓を与えられたという歴史があります。

仙台伊達藩・第4代伊達綱村公(幼君・亀千代)のときの寛文事件では、涌谷伊達家・第4代藩主伊達安芸宗重公は、亀千代君の後見人による悪政と意思を通じる藩の家老による権謀術策を、幕府に訴えましたが、1671(寛文11)年3月27日、江戸幕府の大老・酒井雅楽頭忠清邸で原田甲斐による刀傷により涌谷伊達家・第4代藩主宗重公が絶命、身を挺して仙台藩の危機を救ったという事件ですが、この時の宗重公の忠義により仙台伊達藩は、お家安泰に。この伊達安芸宗重公の御遺徳を偲び、没後50年ごとに記念事業が行われてきました。

明治3年200回忌では旧涌谷神社を創建、大正9年250回忌では現在の涌谷神社造営・見龍寺の梵鐘铸造、昭和45年300回忌では町立史料館を建設。篁峯寺には、寛文11年に凶刃に倒れた伊達安芸宗重公供養のため、第5代宗元公が寄進した鐘楼があります。

現在没後350年祭に向け旧涌谷伊達家・家臣の方々が、活動中です。主君に忠義を尽くした伊達安芸宗重公の御遺徳を偲ぶ行事に参加してみませんか?

涌谷町長 大橋信夫



# 箕岳白山小学校で第1回卒業式

本校舎で卒業式を迎えられました



**ドキドキしながら、感謝の気持ちを抱きながらの入校式**

3月6日(月)に、改修工事によって入校が遅れていた箕岳白山小学校の本校舎の入校式が行われました。

式では、大橋町長が鈴木一郎校長に、校舎引き渡しの証として鍵のレプリカを贈呈。鈴木校長からは「児童の皆さんが楽しい思い出をいっぱい作れば、事故なく過ごせればいいなと、ドキドキしながら校舎に入りました」と式辞が述べられました。また、一人の6年生児童からは、



真新しくなった本校舎には箕岳白山小の校章が



本校舎体育館に100人の児童の校歌が響きわたる



6年生が成人する頃には、立派な桜の木に

「感謝の気持ちを持ちながら校舎に入りました」と卒業式に間に合ったことへの思いが発表されました。

**本校舎への入校を記念して植樹式**

3月17日(金)に、本校舎への入校を記念して植樹式が行われ、桜の苗木6本が植樹されました。

苗木は、有限会社大地環境企画から寄付いただいたもので、箕岳白山小学校のこれからの歴史と子どもたちの成長を末永く見届けていきます。

**本校舎での卒業式**

3月22日(水)には、箕岳白山小学校の第1回卒業式が挙行されました。

卒業した6年生は、本校舎での生活が2週間あまりと短い期間ではありましたが、卒業式の練習をはじめ、休み時間に体育館でバスケットを楽しむなど、濃密な生活をおくりました。

在校生に「校風と伝統を創りあげていってほしい」と別れの言葉があったほか、保護者や地域の皆さん、教職員に感謝の言葉が送られました。

# 涌谷中学校で第2回卒業式

## 2歩目を紡ぐ者たちの卒業



### 2歩目だからこそ葛藤

3月12日(日)に、涌谷中学校において、第2回卒業式が挙行されました。

今回の卒業生は、旧涌谷中学校・旧篁岳中学校に入学し、2年生で統合を経験。そして、3年生では、先輩たちが初めて作った新生中学校の歴史の2歩目を引き継ぐという厳しい時期を過ごしてきました。

その葛藤と意思が一つになっていった過程について、生徒代表の荒なみさんの答辞に込められていました。

修学旅行の際に、両中学校の地域の伝統芸能「篁岳白山豊年踊り」や「秋の山唄」、「お茶屋節踊り」を上野公園で披露することが企画されました。はじめのうちは、旧中学校単位で集まる生徒の魂が目についていましたが、公演を成功させようと一つになっていったと話します。

最後の卒業記念合唱では、2歩目を紡ぐ者たちとして一つになった姿を、これまで育ててくれた保護者や地域の方々、中学校生活でお世話になった恩師に、堂々と示しました。



### こども園・幼稚園でも修了式

3月23日(木)には、涌谷町内のこども園・幼稚園において、一斉に修了式が開催されました。

この日修了を迎えた園児は、さくらんぼこども園で37人、涌谷幼稚園で29人、涌谷南幼稚園で10人、のだけ幼稚園で13人の合計89人。

その89人は、6年前に生を受け、未曾有の被害をもたらした東日本大震災を経験し、私たちともに乗り越えてきた最後の世代です。

涌谷幼稚園では、一人ひとりの修了児に修了証書が手渡された後、小学校に入学した後の「100点をとりたい」「マーチングをがんばりたい」といった抱負を壇上から発表。そして、壇上から降りた後、保護者席へ向かい、3年間の成長を支え見守り続けたことへの感謝を、修了証書とともに手渡していました。

安倍孝子園長からは、小学校の心得が「あいいうえおカルタ」で伝えられました。

時に感動の涙あり、時にほっこりとした笑いあいの修了式となりました。

# PickUp! くらしの情報 Information

## お知らせ



### 善意をありがとう

▼ふるさと納税として（2月分）全国の9人の皆さま  
10万円

▼老健施設運営の一助として  
麓岳白山小学校さま  
歩行器2台

### 国民年金のお知らせ 国民年金学生納付特例制度のご案内

20歳以上の人は、学生でも国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、

高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）に在学する学生など。本人の前年所得が、次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

#### 《所得のめやす》

118万円＋（扶養親族などの数×38万円）

学生納付特例の承認期間は、4月から翌年3月までです。

#### 国民年金学生納付特例申請方法

学生納付特例制度により、平成28年度に保険料納付を猶予されている人で、平成29年度も引き続き在学予定の人に、3月下旬に基礎年金番号などが印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が送付されます。同一の学校に在学されている人は、このハガキに必要事項を記入し返送いただくことで、平成29年度の申請ができます。この場合、在学証明書の原本または学生証の写しの添付は不要です。

また、初めて学生納付特例の申請をする人や、役場で申請する人は、従来どおり在学証明書の原本または学生証の写しの添付が必要です。

なお、平成29年度は学生納

付特例制度を利用せず、保険料の納付を希望される場合は納付書を送付します。お手数ですが、最寄りの年金事務所に「ご連絡ください」。

#### ▼問い合わせ先

古川年金事務所 国民年金課 ☎23-11200

町民生活課 町民生活班 ☎44-2898

平成29年4月から浦谷町の

子育て支援体制が変わりました

さくらんぼこども園、保育園、幼稚園、児童館、放課後学童クラブなどの子どもにか

かわる業務を「教育委員会」から町民医療福祉センター福祉課「子育て支援室」に移行

しました。

子育て支援室では、児童手当の手続きやこども医療費の手続きを行う窓口、さくらんぼこども園、浦谷保育園の申込みなど、子どもにかかわる手続きに対応します。

次のことでお悩みの際は、子育て支援室にお問い合わせください。

4月から「子育てで悩んだ時に相談できる専

門の窓口」を設置しました。

●さくらんぼこども園、浦谷保育園の申し込みや相談はどこに聞けばいいの？

●幼稚園、保育園の保育料のことはどこに聞けばいいの？

●子育ての悩みは、どこに相談すればいいの？

▼注意点 幼稚園、児童館、放課後学童クラブの利用は、これまでどおり各施設にお申し込みください。

▼問い合わせ先 福祉課子育て支援室 ☎43-5111（代表）

#### 国民健康保険からのお知らせ

社会保険と国民健康保険の切り替えには届出が必要です

国民健康保険加入者が就職などにより会社の健康保険に加入した場合は脱退手続き、また、退職などにより会社の健康保険を脱退した場合は、国民健康保険の加入手続きが14日以内に必要です。

会社の健康保険に加入後、国民健康保険を脱退する手続きをしないと、保険料を二重で支払うこととなります。

#### 【国民健康保険の脱退】

次の2ケースで、手続きが必要

●会社の健康保険に加入したとき

●会社の健康保険の被扶養者になったとき

▼手続きに必要なもの 印鑑（シャチハタ以外）、会社から発行される「健康保険資格喪失連絡票」、本人確認できる書類（運転免許証、パスポートなど）、個人番号がわかるもの（個人番号カードまたは個人番号通知カードなど）

【手続きの窓口】役場総合窓口（町民生活課）または健康課窓口

▼問い合わせ先 健康課 国保介護班 ☎43-5111（内線516）

